

令和 5 年度 決算報告について

逗子市環境都市部下水道課

■はじめに	・ ・ ・	p 3
■収益的収支と資本的収支について	・ ・ ・	p 4
■損益計算書について	・ ・ ・	p 5
■資本的収支について	・ ・ ・	p 8
■貸借対照表について	・ ・ ・	p 9
■キャッシュ・フロー計算書について	・ ・ ・	p12
■経営指標について	・ ・ ・	p15

はじめに

- 本市の下水道事業は、令和元年度に公営企業会計へ移行しました毎年、おもに次の財務諸表を作成し、公表しています
 - 損益計算書
 - 貸借対照表
 - キャッシュ・フロー計算書
- ここでは令和5年度逗子市下水道事業会計決算書などから、本市の下水道事業の財政状況をわかりやすくご説明します

収益的収支と資本的収支について

公営企業会計では、
損益にかかわる取引（収益的収支）と
投資にかかわる取引（資本的収支）を明確に区別しています

収益的取引

おもに下水道施設を維持、管理するための取引

- 収益的収入・・・下水道使用料など
- 収益的支出・・・人件費、光熱水費、支払利息など

損益計算書で
収支を把握

資本的取引

おもに下水道施設を整備、改築するための取引

- 資本的収入・・・企業債など
- 資本的支出・・・建設改良費、企業債の償還元金など

決算報告書で
収支を把握

損益計算書について

5

平成〇〇年度××町下水道事業損益計算書(イメージ)
(平成〇〇年4月1日から平成△△年3月31日まで)

1 営業収益	61,341,000
下水道使用料	34,575,600
雨水処理負担金	23,049,000
受託事業収益	3,413,000
その他営業収益	304,000
2 営業費用	50,629,100
管渠費	6,161,750
処理場費	18,486,950
受託事業費	3,490,000
総務費	13,565,800
減価償却費	8,146,800
資産減耗費	605,000
その他営業費用	173,000
営業利益	10,712,500
3 営業外収益	1,062,184
受取利息及び配当金	213,140
長期前受金戻入	614,000
雑収益	225,024
4 営業外費用	7,789,700
支払利息及び企業債取扱諸費	7,708,200
雑支出	91,500
経常利益	3,984,984
5 特別利益	70,000
固定資産売却益	70,000
6 特別損失	50,000
減損損失	50,000
当年度純利益	3,984,984
前年度繰越利益剰余金	0
その他未処分利益剰余金変動額	0
当年度末処分利益剰余金	3,984,984

3つの段階で利益を把握
利益 = 収益 - 費用

①営業利益

通常の業務活動の損益の結果が表示されます。

②経常利益

通常の業務活動に関する損益に加えて資金調達等に関する損益の結果が表示されます。

③純利益

1年間の全ての損益の結果が表示されます。

損益計算書からは、下水道施設を維持・管理するためにどのような経営活動を行いどのような成績だったのかわかります

過去の経営を分析し、将来の方針に役立てることが出来ます

出典：総務省「地方公営企業法の適用に関するマニュアル（平成31年3月改訂版）」

損益計算書を見てみよう

通常の業務活動の成績は、824,570千円の営業損失となりました

※税抜表示

項目	金額（千円）	項目	金額（千円）
維持管理などにかかる費用	721,990	下水道使用料	757,502
減価償却費	1,076,172	雨水処理負担金	215,472
その他	595	その他	1,213
営業費用	1,798,757	営業収益	974,187

営業収益
(974,187)

—

営業費用
(1,798,757)

=

営業損失
(-824,570)

プラスなら営業利益
マイナスなら営業損失
になります

損益計算書を見てみよう

7

営業損失と資金調達にかかる収支などを足した、最終的な経営の成績は87,855千円の純損失（赤字）でした

※税抜表示

項目	金額（千円）	項目	金額（千円）
支払利息	25,913	他会計補助金	272,701
その他	11,252	その他	501,179
営業外費用	37,165	営業外収益	773,880

営業損失
(-824,570)

+

営業外収益
(773,880)

-

営業外費用
(37,165)

=

経常損益
(-87,855)

プラスなら経常利益
マイナスなら経常損失
になります

経常損益とは本業以外の収支も含めた成績のこと
令和5年度は突発的な損益（特別損益）がなかったため
経常損失がそのまま令和5年度の純損失になります

資本的収支について

資本的収支とは下水道施設を整備、改築するための取引のことで
決算報告書に載せています

※税込表示

項目	金額（千円）	項目	金額（千円）
建設にかかる費用	901,855	企業債借入	213,800
固定資産購入費	2,585	他会計補助金	98,808
企業債償還金	289,390	国や県からの補助金	217,829
資本的支出	1,193,830	資本的収入	530,437

資本的収入と資本的支出との不足分については補てん財源
（減価償却費など現金の支出をともしない費用等）をあてています

貸借対照表について

貸借対照表とはその時点での資産や負債を表示するもの

《貸借対照表のイメージ》

保有する
財産

資産

建物、車両などの固定資産
現金などの流動資産

負債

企業債などの固定負債
未払金などの流動負債

返済義務の
ある資金

資本

資本金
利益剰余金

返済義務の
ない資金

負債と資本で資金調達し、資産を形成
 $\text{資産} = \text{負債} + \text{資本}$ になります

10

貸借対照表からは
どのような資金調達を行い
どのような資産を得ている
かがわかります

出典：総務省「地方公営企業法の適用に関するマニュアル（平成31年3月改訂版）」

貸借対照表を見てみよう

11

資産を形成するための財源が負債と資本であり、
 $\text{資産} = \text{負債} + \text{資本}$ になります

※税抜表示

項目	金額（千円）	項目	金額（千円）
有形固定資産	13,999,232	企業債	3,075,622
固定資産の合計	13,999,232	固定負債の合計	3,075,622
現金	839,692	流動負債の合計	1,044,752
未収金	200,911	1年以内に返済する 企業債	260,127
流動資産の合計	1,040,603	未払金	776,393
		その他	8,232
		繰延収益の合計	6,045,767
		負債の部 合計	10,166,141
		資本の部 合計	4,873,694
資産の部 合計	15,039,835	負債・資本の部 合計	15,039,835

キャッシュ・フロー計算書について

平成〇〇年度××町下水道事業キャッシュ・フロー計算書(イメージ)

(平成〇〇年4月1日から平成△△年3月31日まで)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	3,984,964
減価償却費	8,146,800
減損損失	50,000
長期前受金戻入額	▲ 614,000
受取利息及び配当金	▲ 213,140
支払利息及び企業債取扱諸費	7,708,200
固定資産売却損	557,000
固定資産売却損益(▲は益)	▲ 70,000
未収金の増減額(▲は増加)	▲ 2,541,898
未払金の増減額(▲は減少)	2,086,074
たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲ 30,959
引当金の増減額(▲は減少)	968,000
その他流動資産の増減額(▲は増加)	▲ 25,000
その他流動負債の増減額(▲は減少)	▲ 10,000
小計	19,976,241
受取利息及び配当金	213,140
支払利息及び企業債取扱諸費	▲ 7,708,200
業務活動によるキャッシュ・フロー	12,481,181
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	▲ 38,396,800
有形固定資産の売却による収入	300,000
無形固定資産の取得による支出	▲ 85,000
一般会計等繰入金による収入	3,500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 34,661,800
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
企業債による収入	25,000,000
企業債の償還による支出	▲ 3,076,940
リース債務の支払額	▲ 160,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,762,260
資金増加額(又は減少額)	▲ 418,359
資金期首残高	7,163,753
資金期末残高	6,745,394

業務活動によるキャッシュ・フロー

通常の業務活動の実施による
資金の収支や投資活動、財務活
動以外の収支が表示されます。

投資活動によるキャッシュ・フロー

通常の業務活動の基礎となる
固定資産の取得及び売却の収
支が表示されます。

財務活動によるキャッシュ・フロー

増資、減資による収支や資金調
達、返済に関する収支が表示さ
れます。

キャッシュ・フロー計算書
とは資金の収支状況を活動
別に表示するもので、
現金の収入・支出について
把握することができます

出典：総務省「地方公営企業法の適用に関するマニュアル
(平成31年3月改訂版)」

キャッシュ・フロー計算書を見てみよう

業務、投資活動によるキャッシュ・フローはプラスでしたが、財務活動によるキャッシュ・フローはマイナスでした

※税抜表示

項目	金額（千円）
当年度純損失	- 87,855
減価償却費	1,076,172
その他	- 394,776
支払利息	- 25,913
業務活動によるキャッシュ・フロー	567,628
有形固定資産の取得による支出	- 237,415
国庫補助金などによる収入	263,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,322
企業債の借入による収入	213,800
企業債の償還による支出	- 289,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	- 75,590
資金増加（マイナスは減少）額	518,360

キャッシュ・フロー計算書の読み方の例

《令和5年度のキャッシュ・フロー》

業務活動	投資活動	財務活動	資金増加額
567,628 (プラス)	26,322 (プラス)	- 75,590 (マイナス)	518,360

- 本業の現金出納はおおむね良好であるものの、今年度は当年度同意済で未発行の企業債が多く、有利子負債の今後の返済負担増加が想定される。

《参考》

	業務活動	投資活動	財務活動	読み方
令和4年度	プラス	マイナス	プラス	本業の現金出納はおおむね良好 投資の財源を借金に依存していることが想定される

経営指標について

15

- 経営の現状および課題を把握するために、ほかの団体と比較可能な「経営分析比較表」を作成しています
- ≪経営分析比較表のおもな指標≫
 - 経常収支比率
 - 流動比率
 - 経費回収率
 - 有形固定資産減価償却率
 - 汚水処理原価

※なお、類似団体とは総務省が公表しているもので、本市は以下の区分に該当します

処理区域内人口	処理区域内人口密度	供用開始後年数	同規模団体数
3万人以上 10万人未満	50人/ha以上 75人/ha未満	30年以上	63

(令和4年度末時点)

● 経営指標～経常収支比率～

- 使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息などの費用をどの程度まかなえているかを表す指標
- 100%を下回ると単年度の収支が赤字であり、経営改善に向けた取り組みが必要になると考えられます

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
逗子市	93.3%	94.9%	95.0%	97.6%	95.2%
類似団体平均値	106.3%	106.7%	106.9%	106.7%	

● 経営指標～有形固定資産減価償却率～

- 有形固定資産の老朽化度合いを表す指標で、数値が高いほど法定耐用年数（50年）に近い資産が多いことを示す
- 将来の施設の改築（更新・長寿命化）などの必要性を推測することができます

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
逗子市	7.9%	15.5%	21.4%	25.0%	29.6%
類似団体平均値	21.2%	23.2%	25.2%	27.4%	

● 経営指標～流動比率～

- 短期的な債務に対する支払能力を表す指標
- 100%を下回ると、1年以内に現金化できる資産で1年以内に支払わなければならない負債をまかなえていないということ

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
逗子市	27.8%	44.9%	64.9%	118.4%	99.6%
類似団体 平均値	71.5%	67.9%	72.9%	81.2%	

● 経営指標～汚水処理原価～

- ▶ 有収水量(※) 1 m³当たりの汚水処理にどれだけコストがかかったかを表した指標
- ▶ 他団体などと比較してあまりに高い場合には投資の効率化などの経営改善を行う必要があると考えられます

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
逗子市	120.3円	150.0円	144.3円	150.0円	150.1円
類似団体 平均値	141.2円	136.9円	138.5円	138.7円	

※有収水量とは、上水道の使用水量など使用料の算定基準になる水量のこと

● 経営指標～経費回収率～

- 使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料でまかなえているかを表した指標
- 100%を下回っている場合、汚水処理にかかる費用が使用料以外の収入によりまかなわれていることを意味するため、適正な使用料収入の確保や、汚水処理費の削減が必要と考えられます

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
逗子市	85.1%	72.5%	70.1%	78.6%	83.1%
類似団体 平均値	88.1%	91.1%	90.7%	90.5%	

おわりに



逗子海岸の東浜にある石原
慎太郎氏の作品が由来の「太陽
の季節記念碑」と、海から望む
太陽が色鮮やかに描かれた
デザインマンホールで、
JR逗子駅前にあります

- 令和6年1月には、経営の健全化を図るため、逗子市公共下水道事業経営戦略の改定を行いました。
- 令和8年下水道事業会計の赤字解消等を図るため、下水道使用料の改定を行う予定です。
- 今後とも逗子市の下水道事業にご理解・ご協力をお願いいたします。